

1 開催要項

平成30年9月18日(火)、日本消防協会主催により、「地域防災を担う人づくり」国際シンポジウムを東京都内で開催しました。

わが国では、東日本大震災の経験から「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、常備消防、消防団の充実強化はもとよりのこと、この法律の趣旨を生かして、地域の皆さんの総力を結集した地域防災力の充実強化をめざす様々な取組を進めています。その実現のためには、地域防災を担う人づくり、特にリーダーづくりが重要です。こうしたことから、総務省消防庁など関係の方々のご協力をいただき、海外3か国をはじめとする国内外のパネリストの参加による国際シンポジウムを開催することといたしました。シンポジウム当日は、県、市町村の防災担当者及び消防防災関係者など、全国から300人を超える多数の皆さんにご参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。

シンポジウムでは、参加パネリストからそれぞれの地域防災リーダー養成の取組や課題などについて発表をしていただき、その後パネリストによる意見交換や会場の方々からのご質問で活発な議論が行われました。国や地



秋本 敏文
日本消防協会会長



野田 聖子
総務大臣

域は違っても、人づくり、リーダーづくりなど地域防災に関わる課題や目指す方向に共通するところも多く、最後まで熱心にご参加をいただきました。関係者一同、このシンポジウムの成果を我が国における地域防災体制の充実に役立てていかななくてはならないとの思いを強くしました。

まず、開会に当たり、主催者である公益財団法人日本消防協会 秋本敏文会長からご挨拶を申し上げ、さらに大変ご多忙の中、ご来賓として野田聖子総務大臣にご出席頂き、大規模な災害がつかずな、地域の防災力を一段と高める必要があり、総務省としても地域防災を担う人づくりを支援するための事業を実施していること、このシンポジウムは、共通の使命のもと様々な取組を行っている方々が議論される大変意義深い試みであるとして、あたたかいご激励を頂きました。



フィリップ C. スティット
バーグ氏 (アメリカ)



アンドレ・ハウマン氏
(ドイツ)



シモ・ウエックステン氏
(フィンランド)



大村 慎一
総務省消防庁国民保護・防災部長



飯泉 嘉門
徳島県知事



荒井 守
横浜市危機管理監



内藤 久夫
韭崎市長



室崎 益輝
兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科長

○各パネリスト

フィリップ C. スティットバーグ (アメリカ)
全米義勇消防協会 (NVFC) 前会長
アンドレ・パウマン (ドイツ)
ベルリン消防学校EMS訓練部副部長
シモ・ウエックステン (フィンランド)
フィンランド消防協会理事長
大村 慎一 総務省消防庁国民保護・防災部長
飯泉 嘉門 徳島県知事
荒井 守 横浜市危機管理監
内藤 久夫 韭崎市長
室崎 益輝 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長

○コーディネーター

秋本 敏文 日本消防協会会長
日本防火・防災協会会長

た。それぞれの国や地域で災害の状況や社会的な環境などは異なっていますが、地域防災力の強化に積極的に取り組み、そのための人づくり、リーダーづくりに創意工夫をこらしながら努力されていることがわかりました。



会場の様子



パネリストの発表

2 第1部 各パネリストの発表

第1部では、事前に各国、各地域から提出いただいた資料に基づき、消防防災行政の中での「地域防災力の充実強化」の位置づけ、これを支える人づくりやリーダーづくりの状況、研修育成事業の内容・日数・経費負担方法等、研修を修了した人の組織化や活躍の場の用意等の具体例や当面する課題などについて、各パネリストから発表していただきました。

3 第2部 意見交換、質疑応答

第2部では、パネリストの方々のほか会場参加者を交えて、質問や意見交換をして頂きました。主なご論議としては、海外では国と市町村の間にある県のような立場の行政主体はどのような活動をしているのか、消防職員や消防団員は地域防災リーダー養成において具体的にどのような活動を行っているのか、自分の地域は大丈夫であると思っている住民に対して災害への警戒意識を高めるためにどのようにしているのか、学者の方々との連携、協力などはどのように進めているのか等があり、それぞれのパネリストからご意見をいただくなど、非常に活発な意見交換となりました。

ご参加いただいたパネリストや会場参加者の方々から、大変有意義なシンポジウムであったと好評でした。